

ふりがな 氏名	はらだ かずひろ 原田 和弘				
就こうと する職名	教授	所 属	人間発達環境学研究科 人間発達専攻行動系教育研究分野	専任・兼任 の別	専任
略 歴					
学 歴	年月	事 項			
	2002年3月	東京都立町田高等学校 卒業			
	2002年4月	大阪大学人間科学部 入学			
	2006年3月	大阪大学人間科学部人間科学科 卒業			
	2006年4月	早稲田大学大学院スポーツ科学研究科スポーツ科学専攻修士課程 入学			
	2008年3月	早稲田大学大学院スポーツ科学研究科スポーツ科学専攻修士課程 修了			
	2008年4月	早稲田大学大学院スポーツ科学研究科スポーツ科学専攻博士後期課程 進学			
2011年3月	早稲田大学大学院スポーツ科学研究科スポーツ科学専攻博士後期課程 修了				
職 歴	年月	事 項			
	2008年4月	日本学術振興会 特別研究員DC1(～2011年3月)			
	2011年4月	日本学術振興会 特別研究員PD(～2013年3月)			
	2011年4月	早稲田大学スポーツ科学学術院 非常勤講師(～2016年3月)			
	2013年4月	国立長寿医療研究センター生活機能賦活研究部 特任研究員(～2016年3月) (2015年4月の改組により部名称が予防老年学研究部に変更)			
	2016年3月	神戸大学大学院人間発達環境学研究科 特命助教(～2018年3月)			
	2018年4月	神戸大学大学院人間発達環境学研究科 准教授(～2023年6月)			
2022年11月	神戸大学ウェルビーイング先端研究センター 准教授(～2023年6月)				
学 位	年月	事 項			
	2011年3月	博士(スポーツ科学)(早稲田大学)			

## 著書及び学術論文等目録

### 【研究活動】

#### I. 著書

##### <分担執筆>

1. 医療心理学の新展(鈴木伸一編) 北大路書房 2008.11  
担当箇所「生活習慣病予防と行動変容」pp. 111-121  
(原田和弘, 岡浩一朗)
2. スポーツ心理学事典(日本スポーツ心理学会編) 大修館書店 2008.12  
担当箇所「社会的認知理論」pp. 526-528  
(原田和弘, 岡浩一朗)
3. 基礎からわかる軽度認知障害(MCI)(島田裕之編) 医学書院 2015.4  
担当箇所「健康行動の促進」pp. 237-245  
(原田和弘)
4. 運動による脳の制御(島田裕之編) 杏林書院 2015.7  
担当箇所「身体活動向上を目指した行動変容技法の方法と効果」pp. 150-160  
(原田和弘)
5. Physical Activity, Exercise, Sedentary Behavior and Health(Kanosue, K., et al. 編) Springer Japan 2015.8  
担当箇所「Promotion of Strength Training」pp. 29-42  
(Nakamura, Y., Harada, K.)
6. フレイルの予防とリハビリテーション(島田裕之編) 医歯薬出版 2015.9  
担当箇所「身体活動向上によるフレイル予防」pp. 101-106  
(原田和弘)
7. 超高齢社会を生きる—老いに寄り添う心理学(日本心理学会監修:長田久雄, 箱田裕司編) 誠信書房 2016.12  
担当箇所「健康長寿のための身体運動」pp. 2-19  
(原田和弘)
8. 高齢者理学療法学(島田裕之, 牧迫飛雄馬, 山田実編) 医歯薬出版 2017.3  
担当箇所「身体活動の評価」pp.193-200  
(原田和弘)
9. はじめてとりくむ身体活動支援(宮地元彦編) 医歯薬出版 2019.6  
担当箇所「その気にさせる支援法」pp.91-102  
(原田和弘)

## II. 学術論文 ＜査読付論文＞

1. 大学生における健康食品摂取行動の規定要因について  
(古村和恵, 荒井龍淳, 原田和弘) 生老病死の行動科学, vol. 10 2005.11  
pp. 61-70
2. 高等学校における強歩大会の実態調査  
(木内虹平, 原田和弘, 秋山由里, 中村好男) ウォーキング研究, vol. 11 2007.12  
pp. 89-93
3. ウォーカーにおける内臓脂肪蓄積に関与する生活習慣  
の検討 ウォーキング研究, vol. 11 2007.12  
pp. 225-229  
(高泉佳苗, 原田和弘, 李恩兒, 中村好男)
4. 大学生の睡眠習慣に対する介入とセルフ・エフィカシー  
の般化についての検討 行動医学研究, vol. 14 2008.3  
pp. 21-29  
(原田和弘, 平井啓, 荒井弘和, 岡浩一朗, 中村好  
男)
5. 虚弱な高齢者を対象とした運動特異的主観的健康度・  
機能状態尺度の開発 応用老年学, vol. 2 2008.5  
pp. 40-49  
(原田和弘, 太田暁美, 柴田愛, 岡浩一朗, 中村好男,  
村岡功)
6. ウォーカーにおける生活習慣病の保有状況及びウォー  
キング実施による保有変化 スポーツ科学研究, vol. 5 2008.5  
pp. 120-127  
(高泉佳苗, 原田和弘, 柴田愛, 中村好男)
7. Prevalence and correlates of strength training among  
Japanese adults: analysis of SSF National Sports-Life  
Survey 2006 International Journal of Sport and 2008.8  
Health Science, vol. 6  
pp. 66-71  
(Harada, K., Oka, K., Ota, A., Shibata, A., Nakamura,  
Y.)
8. ウォーカーを対象とした通信型栄養教育による栄養情  
報が食習慣と内臓脂肪面積に及ぼす効果:情報提供3  
ヶ月後のフォローアップ調査 肥満研究, vol. 14 2008.8  
pp. 151-158  
(高泉佳苗, 原田和弘, 李恩兒, 中村好男)
9. ウォーキング人口推計の課題 ウォーキング研究, vol. 12 2008.12  
(原田和弘, 中村好男) pp. 227-230
10. 米国におけるウォーキングと健康づくりに関する研究の  
動向 ウォーキング研究, vol. 12 2008.12  
pp. 221-225  
(原田和弘, 柴田愛, 李恩兒, 庄子博人, 木内虹平,

金賢植, 片山祐実, 岡浩一朗, 中村好男)

11. Determinants of participation in walking program with information technology  
(Harada, K., Yamawaki, K., Akiyama, Y., Oka, K., Nakamura, Y.) International Journal of Sport and Health Science, vol. 6 2008.12  
pp. 145-153
12. Factors associated with the stages of change for strength training behavior  
(Harada, K., Oka, K., Shibata, A., Ota, A., Okada, J., Nakamura, Y.) International Journal of Sport and Health Science, vol. 6 2008.12  
pp. 251-263
13. 高等学校における長距離歩行行事の意義と運営における問題点とその対処法  
(木内虹平, 原田和弘, 中村好男) ウォーキング研究, vol. 12 2008.12  
pp. 127-133
14. 身体活動・運動疫学研究における重要論文20本  
(今井(武田)富士美, 中田由夫, 岡浩一朗, 北畠義典, 原田和弘, 神野宏司, 井上茂) 運動疫学研究, vol. 11 2009.3  
pp. 17-27
15. 青年勤労者における抑うつ状態と体力との関連  
(久保田晃生, 原田和弘, 笹井浩行, 甲斐裕子, 高見京太) 厚生指標, vol. 56 2009.3  
pp. 27-33
16. ウォーキング行動の変容ステージとセルフ・エフィカシー尺度の開発—30-49歳を対象としたインターネット調査による横断研究—  
(山脇加菜子, 原田和弘, 李恩兒, 岡浩一朗, 中村好男) 日本健康教育学会誌, vol. 17 2009.5  
pp. 87-96
17. ウォーカーを対象とした集団栄養教育とリーフレット郵送を組み合わせた栄養教育  
(高泉佳苗, 原田和弘, 李恩兒, 中村好男) 栄養学雑誌, vol. 67 2009.6  
pp. 141-147
18. Psychological, social, and environmental factors to meeting physical activity recommendations among Japanese adults  
(Shibata, A., Oka, K., Harada, K., Nakamura, Y., Muraoka, I.) International Journal of Behavioral Nutrition and Physical Activity, vol. 6 2009.8  
e60.pp.1-12
19. 身体活動・運動への興味を高める方略としての趣味・余暇活動ゲートウェイの可能性  
(原田和弘, 中村好男) スポーツ産業学研究, vol. 19 2009.9  
pp. 129-142

20. 介護予防の観点から見た韓国の介護保険制度の実施状況  
(金賢植, 李恩兒, 原田和弘, 中村好男) スポーツ科学研究, vol. 6 2009.9  
pp. 60-68
21. 中高齢者における特定健康診査・特定保健指導の認知度と運動実施との関連  
(李恩兒, 金賢植, 原田和弘, 高泉佳苗, 中村好男) スポーツ産業学研究, vol. 19 2009.9  
pp. 197-204
22. 30~40歳代におけるウォーキング行動の実施状況と推奨身体活動基準を充たす者の特徴  
(須藤英彦, 原田和弘, 小椋一也, 岡浩一朗, 中村好男) スポーツ産業学研究, vol. 19 2009.9  
pp. 205-216
23. 健康づくりのための運動指針2006の認知状況と他の健康づくり施策の認知および人口統計学的変数との関連  
(原田和弘, 高泉佳苗, 柴田愛, 岡浩一朗, 中村好男) 日本公衆衛生雑誌, vol. 56 2009.10  
pp. 737-743
24. Perception about activities for muscular fitness improvement and its intergenerational difference in Japanese adults  
(Harada, K., Oka, K., Nakamura, Y.) International Journal of Sport and Health Science, vol. 7 2009.12  
pp. 96-102
25. 「イベントウォーカー」から「習慣的ウォーカー」へ  
(李恩兒, 原田和弘, 岡浩一朗, 中村好男) ウォーキング研究, vol. 13 2009.12  
pp. 221-224
26. ウォーキングに興味・関心のある30~40歳代成人のウォーキング行動の特徴  
(小椋一也, 原田和弘, 柴田愛, 石井香織, 中村好男, 岡浩一朗) ウォーキング研究, vol. 13 2009.12  
pp. 225-234
27. 特定健康診査・特定保健指導の認知変化に有効なメッセージチャンネルの検討  
(李恩兒, 原田和弘, 中村好男) スポーツ産業学研究, vol. 20 2010.3  
pp. 65-72
28. 30-40歳代の日常生活場面におけるウォーキング行動の類型化  
(須藤英彦, 原田和弘, 岡浩一朗, 中村好男) 体力科学, vol. 59 2010.6  
pp. 323-332
29. 地域在住高齢者における足部に関する問題と転倒経験・転倒不安との関連  
(原田和弘, 岡浩一朗, 柴田愛, 蕪木広信, 中村好男) 日本公衆衛生雑誌, vol. 57 2010.8  
pp. 612-623
30. 高齢者の筋力トレーニングに対する認識:筋力トレーニング スポーツ産業学研究, vol. 20 2010.9

- ング実施者における質的分析 pp. 191-197  
(原田和弘, 李恩兒, 片山祐実, 柴田愛, 岡浩一朗, 中村好男)
31. 運動無関心者の心理的準備性の変化と趣味・余暇活動との関連 スポーツ産業学研究, vol. 20 2010.9  
pp. 199-209  
(原田和弘, 片山祐実, 中村好男)
32. 40-59歳における健康診断未受診と特定健康診査・特定保健指導の認知及び人口統計学的要因との関連—自営業者と勤務者の比較— スポーツ産業学研究, vol. 20 2010.9  
pp. 217-225  
(川口亜佑子, 原田和弘, 李恩兒, 中村好男)
33. 余暇時間の過ごし方に関する生活情報誌を用いた介入が大学生の身体活動に与える影響 ウォーキング研究, vol. 14 2010.12  
pp. 61-66  
(片山祐実, 原田和弘, 李恩兒, 中村好男)
34. ウォーキングを主目的としないウォーキングイベントによるウォーカーの増大効果 ウォーキング研究, vol. 14 2010.12  
pp. 117-121  
(李恩兒, 原田和弘, 中村好男)
35. Influence of awareness of the Japanese Food Guide Spinning Top on eating behavior and obesity Asia Pacific Journal of Clinical Nutrition, vol. 20 2011.2  
pp. 95-101  
(Takaizumi, K., Harada, K., Shibata, A., Nakamura, Y.)
36. 乳がん検診に対する態度の測定 厚生指標, vol. 58 2011.2  
pp. 14-20  
(関愛子, 平井啓, 長塚美和, 原田和弘, 荒井弘和, 挟間礼子, 石川善樹, 濱島ちさと, 齊藤博, 渋谷大助)
37. 身体活動と環境要因に関する研究の考え方とその動向 スポーツ産業学研究, vol. 21 2011.3  
pp. 1-7  
(原田和弘, 柴田愛, 中村好男)
38. 趣味・余暇活動への興味を促すことを意図した介入が運動無関心者の心理的準備性に及ぼす効果 スポーツ産業学研究, vol. 21 2011.3  
pp. 27-39  
(片山祐実, 原田和弘, 中村好男)
39. 小学生のレジスタンストレーニング実施の適否に関する保護者の認識とサーキットトレーニングプログラム利用意向との関連 スポーツ産業学研究, vol. 21 2011.3  
pp. 41-48  
(原豪志, 原田和弘, 間野義之, 中村好男)
40. エクササイズガイド2006の認知度と身体活動量の変化 日本公衆衛生雑誌, vol. 58 2011.3  
pp. 190-198  
(原田和弘, 柴田愛, 李恩兒, 岡浩一朗, 中村好男)

41. Perceived environmental factors associated with physical activity among normal-weight and overweight Japanese men  
(Liao, Y., Harada, K., Shibata, A., Ishii, K., Oka, K., Nakamura, Y., Inoue, S., Shimomitsu, T.) International Journal of Environmental Research and Public Health, vol. 8 pp. 931-943 2011.3
42. 勤労者における抑うつ状態と体力との関連の縦断的研究  
(久保田晃生, 竹内亮, 原田和弘, 笹井浩行, 甲斐裕子, 高見京太) 厚生指標, vol. 58 pp. 15-22 2011.4
43. Strength training behavior and perceived environment among Japanese older adults  
(Harada, K., Oka, K., Shibata, A., Ishii, K., Nakamura, Y., Inoue, S., Shimomitsu, T.) Journal of Aging and Physical Activity, vol. 19 pp. 262-272 2011.6
44. Physical activity and psychological adjustment in Japanese advanced lung cancer patients in chemotherapy: The feasibility of intervention  
(Arai, H., Hirai, K., Harada, K., Tokoro, A.) International Journal of Sport and Health Science, vol. 8 pp. 15-21 2011.6
45. Oxidised low-density lipoprotein concentrations and physical activity status in older adults: The WASEDA Active Life Study  
(Park, J., Miyashita, M., Takahashi, M., Harada, K., Takaizumi, K., Kim, H.S., Suzuki, K., Nakamura, Y.) Journal of Atherosclerosis and Thrombosis, vol. 18 pp. 568-573 2011.7
46. Use of senior center and the health-related quality of life in Korean older adults  
(Kim, H.S., Harada, K., Miyashita, M., Lee, E.A., Park, J.K., Nakamura, Y.) Journal of Preventive Medicine and Public Health, vol. 44 pp. 149-156 2011.7
47. Socio-demographic and health-related characteristics associated with awareness of the long-term care insurance system in Korean older adults  
(Kim, H.S., Harada, K., Lee, E., Miyashita, M., Nakamura, Y.) Journal of the Global Senior Health Promotion Institute, vol. 1 pp. 29-40 2011.8
48. 60～74歳における筋力トレーニングの開始・継続に関連する要因の質的分析  
(原田和弘, 李恩兒, 片山祐実, 柴田愛, 岡浩一朗, 中村好男) スポーツ産業学研究, vol. 21 pp. 187-194 2011.9

49. 高校アイスホッケー部活動における動機づけ雰囲気と目標志向性との関連  
(早乙女誉, 原田和弘, 中村好男) スポーツ産業学研究, vol. 21 2011.9  
pp. 111-120
50. 運動疫学分野における「筋力向上活動」という用語の提案  
(原田和弘, 柴田愛, 岡浩一朗, 中村好男) 運動疫学研究, vol. 13 2011.9  
pp. 146-150
51. 食事バランスガイドの認知レベルの経時変化と人口統計学的特徴および健康特性との関連  
(高泉佳苗, 原田和弘, 中村好男) 日本公衆衛生雑誌, vol. 58 2011.11  
pp. 948-958
52. Joint associations of physical activity and screen time with overweight among Japanese adults  
(Liao, Y., Harada, K., Shibata, A., Ishii, K., Oka, K., Nakamura, Y., Sugiyama, T., Inoue, S., Shimomitsu, T.) International Journal of Behavioral Nutrition and Physical Activity, vol. 8 2011.11  
e131. pp.1-5
53. 健康的な食生活リテラシー尺度の信頼性および妥当性—インターネット調査による検討—  
(高泉佳苗, 原田和弘, 柴田愛, 中村好男) 日本健康教育学会誌, vol. 20 2012.2  
pp. 30-40
54. The relationship between change in perceived motivational climate and change in goal orientations among Japanese ice hockey players  
(Saotome, H., Harada, K., Nakamura, Y.) International Journal of Sports Science and Coaching, vol. 7 2012.3  
pp. 81-88
55. 首都圏自治体の介護予防事業における東日本大震災の影響  
(荒木邦子, 原田和弘, 塩田琴美, 中村好男) スポーツ産業学研究, vol. 22 2012.3  
pp. 187-196
56. 都市部の総合型地域スポーツクラブに小学生を対象とした有料サーキットトレーニングプログラムを導入させる際の市場規模予測: 東京都江戸川区の事例  
(原豪志, 原田和弘, 間野義之, 中村好男) スポーツ産業学研究, vol. 22 2012.3  
pp. 131-139
57. 中国におけるスポーツ振興くじ公益金を活用した“健身路経”の事例  
(何慧群, 原田和弘, 中村好男) スポーツ産業学研究, vol. 22 2012.3  
pp. 101-109
58. 中国におけるスポーツ振興くじ公益金を活用した“健身路経”の財源確保の仕組み  
(何慧群, 原田和弘, 中村好男) スポーツ産業学研究, vol. 22 2012.3  
pp. 147-153



59. Impact of awareness of the Japanese Food Guide Spinning Top on eating behavior  
(Takaizumi, K., Harada, K., Shibata, A., Nakamura, Y.) Public Health Nutrition, vol. 15 2012.3  
pp. 399-406
60. Association of self-reported physical activity patterns and socio-demographic factors among normal-weight and overweight Japanese men  
(Liao, Y., Harada, K., Shibata, A., Ishii, K., Oka, K., Nakamura, Y., Inoue, S., Shimomitsu, T.) BMC Public Health, vol. 12 2012.4  
e278. pp.1-7
61. 東日本大震災が首都圏の介護予防教室参加者に及ぼした影響  
(荒木邦子, 原田和弘, 塩田琴美, 中村好男) 応用老年学, vol. 6 2012.6  
pp. 85-90
62. Correlates of physical activity among overweight and obese populations: a brief review of the literature  
(Liao, Y., Harada, K., Shibata, A., Ishii, K., Oka, K., Nakamura, Y.) The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine, vol. 1 2012.7  
pp. 325-331
63. Psychological, social, and environmental factors associated with utilization of the senior center among older adults in Korea  
(Kim, H.S., Miyashita, M., Harada, K., So, J.M., Nakamura, Y.) Journal of Preventive Medicine and Public Health, vol. 45 2012.7  
pp. 244-250
64. Cost-effectiveness of a tailored intervention designed to increase breast cancer screening among a non-adherent population: a randomized controlled trial  
(Ishikawa, Y., Hirai, K., Saito, H., Fukuyoshi J, Yonekura, A., Harada, K., Seki, A., Shibuya, D., Nakamura, Y.) BMC Public Health, vol. 12 2012.9  
e760. pp.1-8
65. メタボリックシンドロームに対する低強度運動の有効性—運動習慣と日常生活での身体活動の観点から—  
(原田和弘, 宮下政司) 健康支援, vol. 14 2012.9  
pp. 1-7
66. 東日本大震災後の電力不足及び放射能拡散が首都圏・京阪神圏在住成人の身体活動に与えた影響に関する意識調査  
(荒木邦子, 原田和弘, 塩田琴美, 中村好男) スポーツ科学研究, vol. 9 2012.10  
pp. 332-337
67. 運動無関心者の準備性を高める方略としての趣味・余暇活動プログラムの有効性  
(片山祐実, 原田和弘, 中村好男) 日本健康教育学会誌, vol. 21 2013.2  
pp. 13-25

68. サルコペニアに対する低強度運動の有効性  
(原田和弘, 宮下政司) 健康支援, vol. 15 2013.2  
pp. 1-5
69. 身体活動の促進に関する心理学研究の動向:行動変  
容のメカニズム、動機づけによる差異、環境要因の役割  
(原田和弘) 運動疫学研究, vol. 15 2013.3  
pp. 8-16
70. 化学療法を施行中の進行肺がん患者における身体活  
動に対する自律性とセルフ・エフィカシー  
(原田和弘, 平井啓, 荒井弘和, 所昭宏) 行動医学研究, vol. 19 2013.3  
pp. 17-24
71. A community-wide campaign to promote physical  
activity in middle-aged and elderly people: a cluster  
randomized controlled trial  
(Kamada, M., Kitayuguchi, J., Inoue, S., Ishikawa, Y.,  
Nishiuchi, H., Okada, S., Harada, K., Kamioka H,  
Shiwaku, K.) International Journal of 2013.4  
Behavioral Nutrition and Physical  
Activity, vol. 10  
e44. pp.1-16
72. 健康情報源と食行動および身体活動との関連  
(高泉佳苗, 原田和弘, 中村好男) 日本健康教育学会誌, vol. 21 2013.8  
pp. 197-205
73. ウォーキングに対する恩恵認知尺度の開発  
(幸地康子, 原田和弘, 片山佑実, 中村好男) 日本健康教育学会誌, vol. 21 2013.8  
pp. 206-215
74. Perceived influence of power shortage and release of  
radiation caused by the Great Esat Japan Earthquake  
on physical activity participation  
(Nakamura, Y., Harada, K., Araki, K., Shiota, K.,  
Shibata, A.) スポーツ産業学研究, vol. 23 2013.9  
pp. 249-251
75. 電力不足による節電への態度と身体活動増減認識との  
関連  
(荒木邦子, 原田和弘, 塩田琴美, 中村好男) 日本公衆衛生雑誌, vol. 60 2013.9  
pp. 606-612
76. 我が国の小学生における筋力トレーニングの実施状況  
とその関連要因:SSFスポーツライフデータ2012の解析  
(原豪志, 原田和弘, 中村好男) スポーツ産業学研究, vol. 23 2013.9  
pp. 205-211
77. 節電への認知・態度・行動・信念と身体活動との関連  
(荒木邦子, 原田和弘, 塩田琴美, 中村好男) 運動疫学研究, vol. 15 2013.10  
pp. 81-90
78. Structural equation modeling for implementation  
intentions, cancer worry, and stages of mammography  
adoption  
(Hirai, K., Harada, K., Seki, A., Nagatsuka, M., Arai,

H., Hazama, A., Ishikawa, Y., Hamashima, C., Saito, H.,  
Shibuya, D.)

79. Worry and intention among Japanese women: Implications for an audience segmentation strategy to promote mammography adoption  
(Harada, K., Hirai, K., Arai, H., Ishikawa, Y., Fukuyoshi J, Hamashima, C., Saito, H., Shibuya, D.) Health Communication, vol. 28 2013.10  
pp. 709-717
80. 運動行動の動機づけに効果的なインセンティブ  
(松下宗洋, 原田和弘, 荒尾孝) 日本健康教育学会誌, vol. 22 2014.2  
pp. 30-38
81. Eco-Friendly Attitudeと身体活動の関連  
(荒木邦子, 原田和弘, 塩田琴美, 中村好男) スポーツ産業学研究, vol. 24 2014.3  
pp. 29-37
82. 電子メールを活用した職域ウォーキングプログラムの開発と評価  
(須藤英彦, 濱崎絹子, 原田和弘, 安田誠史, 中村好男) 日本健康教育学会誌, vol. 22 2014.5  
pp. 133-145
83. Associations between perceived health benefits and barriers to strength training, and stages of change for strength-training behavior among older Japanese adult  
(Harada, K., Shibata, A., Lee, E., Oka, K., Nakamura, Y.) Journal of Physical Activity and Health, vol. 11 2014.5  
pp. 801-809
84. Perceived and objectively measured access to strength-training facilities and strength-training behavior  
(Harada, K., Shibata, A., Ishii, K., Liao, Y., Oka, K.) Annals of Behavioral Medicine, 2014.8  
vol. 48  
pp. 120-124
85. Association of muscle-strengthening activity with knee and low back pain, falls, and health-related quality of life among Japanese older adults: a cross-sectional survey  
(Harada, K., Shibata, A., Oka, K., Nakamura, Y.) Journal of Aging and Physical Activity, vol. 23 2015.1  
pp. 1-8
86. Cognitive functioning and walking speed in older adults as predictors of limitations in self-reported instrumental activity of daily living: prospective findings from the Obu Study of Health Promotion for the Elderly  
(Makizako, H., Shimada, H., Doi, T., Tsutsumimoto, K., Lee, S., Hotta R, Nakakubo S, Harada, K., Lee, S., Bae, S., Harada, K., Suzuki, T.) International Journal of Environmental Research and Public Health, vol. 12 2015.3  
pp. 3002-3013

87. Promotion of physical activity guidelines and behavior change  
(Harada, K., Nakamura, Y.) Journal of Physical Fitness and Sports Medicine, vol. 4 pp. 9–15 2015.3
88. Community-wide promotion of physical activity in middle-aged and older Japanese: a 3-year evaluation of a cluster randomized trial  
(Kamada, M., Kitayuguchi, J., Abe, T., Taguri, M., Inoue, S., Ishikawa, Y., Harada, K., Lee, I.M., Bauman, A., Miyachi M) International Journal of Behavioral Nutrition and Physical Activity, vol. 12 e82. pp.1–13 2015.7
89. The relationship between obtaining fecal occult blood test and beliefs regarding testing among Japanese  
(Taniguchi T, Hirai, K., Harada, K., Ishikawa, Y., Nagatsuka, M., Fukuyoshi J, Arai, H., Mizota, Y., Yamamoto, S., Saito, H., Shibuya, D.) Health Psychology and Behavioral Medicine, vol. 3 pp. 251–262 2015.9
90. Socioeconomic position and work, travel, and recreation-related physical activity in Japanese adults: a cross-sectional study  
(Matsushita, M., Harada, K., Arao, T.) BMC Public Health, vol. 15 e916. pp.1–7 2015.9
91. Association of household income and education with eating behaviors in Japanese adults: a cross-sectional study  
(Nakamura, S., Inayama, T., Hata, K., Matsushita, M., Takahashi, M., Harada, K., Arao, T.) BMC Public Health, vol. 16 e61. pp.1–14 2016.1
92. Going outdoors and cognitive function among community-dwelling older adults: moderating role of physical function  
(Harada, K., Lee, S., Park, H., Shimada, H., Makizako, H., Doi, T., Yoshida, D., Tsutsumimoto, K., Anan, Y., Uemura, K., Suzuki, T.) Geriatrics and Gerontology International, vol.16 pp. 65–73 2016.1
93. Sources of strength-training information and strength-training behavior among Japanese older adults  
(Harada, K., Shibata, A., Lee, E., Oka, K., Nakamura, Y.) Health Promotion International, vol.31 pp. 5–12 2016.3
94. Driving continuity in cognitively impaired older drivers  
(Shimada, H., Tsutsumimoto, K., Lee, S., Doi, T., Makizako, H., Lee, S., Harada, K., Hotta R, Bae, S., Nakakubo S, Uemura, K., Park, H., Suzuki, T.) Geriatrics and Gerontology International, vol.16 pp. 508–514 2016.4

95. Tailored message interventions versus typical messages for increasing participation in colorectal cancer screening among a non-adherent population: a randomized controlled trial  
(Hirai, K., Ishikawa, Y., Fukuyoshi, J., Yonekura, A., Harada, K., Shibuya, D., Yamamoto, S., Mizota, Y., Hamashima, C., Saito, H.) BMC Public Health, vol.16 e.431. pp.1-8 2016.5
96. Impact of cognitive frailty on daily activities in older persons  
(Shimada, H., Makizako, H., Lee, S., Doi, T., Lee, S., Tsutsumimoto, K., Harada, K., Hotta, R., Bae, S., Nakakubo, S., Harada, K., Suzuki, T.) The Journal of Nutrition, Health, and Aging, vol.20 pp. 729-735 2016.7
97. 食生活リテラシーと食情報検索行動および食行動との関連  
(高泉佳苗, 原田和弘, 中村好男) 日本健康教育学会誌, vol.24 pp.133-140 2016.8
98. 成人におけるヘルスリテラシーと野菜摂取行動および社会経済的地位との関連  
(中村彩希, 稲山貴代, 秦希久子, 松下宗洋, 高橋将記, 原田和弘, 荒尾孝) 健康支援, vol.18 pp.27-35 2016.9
99. ウォーキングによる環境保全効果の認知と歩行時間との関連  
(ホン・ガラム, 原田和弘, 荒木邦子, 中村好男) スポーツ産業学研究, vol.27 pp.31-35 2017.1
100. Joint association of neighborhood environment and fear of falling on physical activity among frail older adults  
(Harada, K., Park, H., Lee, S., Yoshida, D., Anan, Y., Shimada, H., Suzuki, T.) Journal of Aging and Physical Activity, vol.25 pp.140-148 2017.1
101. 認知機能が低下した高齢者に対する身体活動支援  
(原田和弘, 李相侖, 李成喆, 裴成琉, 原田健次, 島田裕之) Journal of Health Psychology Research, vol.29 pp.161-168 2017.2
102. 身体活動量増加の動機づけに効果的なインセンティブプログラム:コンジョイント分析  
(松下宗洋, 原田和弘, 荒尾孝) 日本公衆衛生雑誌, vol.64 pp.197-206 2017.4
103. Association between sedentary time and kidney function in community-dwelling elderly Japanese people  
(Lee, S., Shimada, H., Makizako, H., Doi, T., Harada, K., Bae, S., Harada, K., Hotta, R., Tsutsumimoto, K., Geriatrics and Gerontology International, vol.17 pp.730-736 2017.5

Yoshida, D., Nakakubo, S., Anan, Y., Park, H., Suzuki, T.)

104. 食生活リテラシーと食情報検索バリアおよび食情報源との関連  
(高泉佳苗, 原田和弘, 中村好男) 日本健康教育学会誌, vol.25 2017.5  
pp.63-73
105. Age-dependent changes in physical performance and body composition in community-dwelling Japanese older adults  
(Makizako, H., Shimada, H., Doi, T., Tsutsumimoto, K., Lee, S., Lee, S., Harada, K., Hotta, R., Nakakubo, S., Bae, S., Harada, K., Yoshida, D., Uemura, K., Anan, Y., Park, H., Suzuki, T.) Journal of Cachexia, Sarcopenia and Muscle, vol.8 2017.8  
pp.607-614
106. Psychological predictors of participation in screening for cognitive impairment among community-dwelling older adults  
(Harada, K., Lee, S., Shimada, H., Lee, S., Bae, S., Anan, Y., Harada, K., Suzuki, T.) Geriatrics and Gerontology International, vol.17 2017.8  
pp.1197-1204
107. Objectively-measured outdoor time and physical and psychological function among older adults  
(Harada, K., Lee, S., Lee, S., Bae, S., Harada, K., Suzuki, T., Shimada, H.) Geriatrics and Gerontology International, vol.17 2017.10  
pp.1455-1462
108. Relationship between chronic kidney disease with diabetes or hypertension and frailty in community-dwelling Japanese older adults  
(Lee, S., Lee, S., Harada, K., Bae, S., Makizako, H., Doi, T., Tsutsumimoto, K., Hotta, R., Nakakubo, S., Park, H., Suzuki, T., Shimada, H.) Geriatrics and Gerontology International, vol.17 2017.10  
pp.1527-1533
109. The relationships between components of metabolic syndrome and mild cognitive impairment subtypes: A cross-sectional of Japanese older adults  
(Bae, S., Shimada, H., Lee, S., Makizako, H., Lee, S., Harada, K., Doi, T., Tsutsumimoto, K., Hotta, R., Nakakubo, S., Park, H., Suzuki, T.) Journal of Alzheimer's Disease, vol.60 2017.10  
pp.913-921
110. Reduction in vegetable intake disparities with a web-based nutrition education intervention among lower-income adults: a randomized-controlled trial  
(Nakamura, S., Inayama, T., Harada, K., Arao, T.) Journal of Medical Internet Research, vol.19 2017.11  
e377. pp.1-16

111. 外向性が運動ソーシャルサポートと運動行動との関連に及ぼす影響  
(原田和弘, 増本康平, 近藤徳彦) 日本健康教育学会誌, vol.25 pp.258-268 2017.11
112. Expectation for Physical Activity to Minimize Dementia Risk and Physical Activity Level Among Older Adults  
(Harada, K., Lee, S., Lee, S., Bae, S., Anan, Y., Harada, K., Shimada, H.) Journal of Aging and Physical Activity, vol.26 pp.146-154 2018.1
113. Distance to Screening Site and Older Adults' Participation in Cognitive Impairment Screening  
(Harada, K., Lee, S., Shimada, H., Lee, S., Bae, S., Anan, Y., Harada, K., Suzuki, T.) Geriatrics and Gerontology International, vol.18 pp.146-153 2018.1
114. Relation between communicative and critical health literacy and physical activity in Japanese adults: a cross-sectional study  
(Matsushita, M., Harada, K., Arai, T.) Journal of Physical Fitness and Sports Medicine, vol.7 pp.75-80 2018.1
115. Relationship between chronic kidney disease without diabetes mellitus and components of frailty in community-dwelling Japanese older adults  
(Lee, S., Lee, S., Bae, S., Harada, K., Jung, S., Imaoka, M., Makizako, H., Doi, T., Shimada, H.) Geriatrics and Gerontology International, vol.18 pp.286-292 2018.2
116. Relationship between physical activity levels and depressive symptoms in community-dwelling older Japanese adults  
(Jung, S., Lee, S., Lee, S., Bae, S., Imaoka, M., Harada, K., Shimada, H.) Geriatrics and Gerontology International, vol.18 pp.421-427 2018.3
117. Community intervention to increase neighborhood social network among Japanese older adults  
(Harada, K., Masumoto, K., Katagiri, K., Fukuzawa, A., Chogahara, M., Kondo, N., Okada, S.) Geriatrics and Gerontology International, vol.18 pp.462-469 2018.3
118. 高齢者における近隣の坂道に対する認識と活動的な移動習慣との関連:斜面市街地を対象とした検討  
(原田和弘, 増本康平, 片桐恵子, 福沢愛, 長ヶ原誠, 近藤徳彦, 岡田修一) 運動疫学研究, vol.20 pp.16-25 2018.3
119. Frequency of going outdoors and health-related quality of life among older adults: Examining the moderating role of living alone and employment status  
(Harada, K., Masumoto, K., Katagiri, K., Fukuzawa, Geriatrics and Gerontology International, vol.18 pp.640-647 2018.4

A., Chogahara, M., Kondo, N., Okada, S.)

120. Distance from public transportation and physical activity in Japanese older adults: The moderating role of driving status  
(Harada, K., Lee, S., Lee, S., Bae, S., Anan, Y., Harada, K., Shimada, H.)  
Health Psychology, vol.37 2018.4  
pp.355-363
121. Changes in objectively measured outdoor time and physical, psychological, and cognitive function among older adults with cognitive impairments  
(Harada, K., Lee, S., Lee, S., Bae, S., Harada, K., Shimada, H.)  
Archives of Gerontology and Geriatrics, vol.78 2018.9  
pp.190-195
122. Combined effect of self-reported hearing problems and level of social activities on the risk of disability in Japanese older adults: A population-based longitudinal study  
(Bae, S., Lee, S., Lee, S., Harada, K., Makizako, H., Park, H., Shimada, H.)  
Maturitas, vol.115 2018.9  
pp.51-55
123. Spousal concordance for objectively measured sedentary behavior and physical activity among middle-aged and older couples  
(Harada, K., Masumoto, K., Kondo, N.)  
Research Quarterly for Exercise and Sport, vol.89 2018.12  
pp.440-449
124. The effect of a multicomponent intervention to promote community activity on cognitive function in older adults with mild cognitive impairment: A randomized controlled trial  
(Bae, S., Lee, S., Lee, S., Jung, S., Makino, K., Harada, K., Harada, K., Shinkai, Y., Chiba, I., Shimada, H.)  
Complementary Therapies in Medicine, vol.42 2019.2  
pp.164-169
125. 運動に関する感情経験、態度、および行動意図尺度の作成と運動行動との関連性の検討  
(原田和弘, 村上晴香, 宮地元彦, 近藤徳彦)  
体力科学, vol.68 2019.4  
pp.105-116
126. Impact of sedentary time on chronic kidney disease and disability incidence in community-dwelling Japanese older adults: A 4-year prospective cohort study  
(Lee, S., Lee, S., Bae, S., Harada, K., Jung, S., Makizako, H., Shimada, H.)  
Journal of Aging and Physical Activity, vol.27 2019.4  
pp.184-190



127. Daily and longitudinal associations of out-of-home time with objectively measured physical activity and sedentary behavior among middle-aged and older adults (Harada, K., Masumoto, K., Kondo N) Journal of Behavioral Medicine, 2019.4 vol.42 pp.315-329
128. A longitudinal study of the moderating effects of social capital on the relationships between changes in human capital and ikigai among Japanese older adults. (Fukuzawa, A., Katagiri, K., Harada, K., Masumoto, K., Chogahara, M., Kondo, N., Okada, S.) Asian Journal of Social Psychology, vol.22 pp.172-182 2019.5
129. Environmental predictors of objectively measured out-of-home time among older adults with cognitive decline (Harada, K., Lee, S., Lee, S., Bae, S., Harada, K., Shimada, H.) Archives of Gerontology and Geriatrics, vol.82 pp.259-265 2019.5
130. 小売業勤労者における就業中の転倒に関連する要因：横断研究 (原田和弘, 岡田修一) 日本転倒予防学会誌, vol.6 pp.25-34 2019.6
131. Exercising alone or exercising with others and mental health among middle-aged and older adults: longitudinal analysis of cross-lagged and simultaneous effects (Harada, K., Masumoto, K., Kondo, N.) Journal of Physical Activity and Health, vol.16 pp.556-564 2019.7
132. Perceived food environment predicts vegetable intake according to income: a cross-sectional study (Nakamura, S., Inayama, T., Harada, K., Arao, T.) SAGE Open, vol.9 10.1177/2158244019864202 pp.1-9 2019.7
133. Psychological and environmental correlates of moderate-to-vigorous physical activity and step counts among older adults with cognitive decline (Harada, K., Lee, S., Lee, S., Bae, S., Harada, K., Suzuki, T., Shimada, H.) Perceptual and Motor Skills, vol.126 pp.639-655 2019.8
134. Different associations of routine work time with exercise behavior and objectively measured physical activity among middle-aged and older adults: A daily and longitudinal analysis (Harada, K., Masumoto, K., Kondo, N.) Journal of Behavioral Medicine, 2020.2 vol.43 pp.44-56
135. Social interaction in walking groups and affective responses among Japanese older adults (Harada, K., Masumoto, K., Fukuzawa, A., Touyama, Journal of Aging and Physical Activity, vol.28 pp.287-293 2020.4

M., Sato, K., Kondo, N., Okada, S.)

136. The effect of a multicomponent dual-task exercise on cortical thickness in older adults with cognitive decline: a randomized controlled trial  
Journal of Clinical Medicine, vol.9 2020.5 e1312. pp.1-16  
(Bae, S., Harada, K., Lee, S., Harada, K., Makino, K., Chiba, I., Park, H., Shimada, H.)
137. Social networks as a factor in volunteering among elderly Japanese with lower socioeconomic status  
Japanese Psychological Research, 2020.7 vol.62 pp.206-214  
(Fukuzawa, A., Katagiri, A., Harada, K., Masumoto, K., Chogahara, M., Kondo, N., Okada, S.)
138. Distance to supermarkets and dietary variety among Japanese older adults: examining the moderating role of grocery delivery services  
Public Health Nutrition, vol.24 2021.6 pp.2077-2084  
(Harada, K., Masumoto, K., Okada, S.)
139. Three-year effects of neighborhood social network intervention on mental and physical health of older adults  
Aging and Mental Health, vol.25 2021.12 pp.2235-2245  
(Harada, K., Masumoto, K., Katagiri, K., Fukuzawa, A., Touyama, M., Sonoda, D., Chogahara, M., Kondo, N., Okada, S.)
140. 運動への手段的および感情的態度と運動行動との関連:セルフ・エフィカシーおよび自己調整による媒介効果の検証  
理学療法学, vol.48 2021.12 pp.563-571  
(太田幸志, 原田和弘)
141. アクティブガイドの認知, 身体活動およびヘルスリテラシー—横断デザインによる全国インターネット調査データより—  
日本健康教育学会誌, vol.30 2022.5 pp.103-114  
(原田和弘, 田島敬之, 小熊祐子, 澤田亨)
142. 相互作用場面での被受容感と相手との元々の親しさの関連—大学生・高齢者集団における検討—  
心理学研究, vol.93 2022.6 pp.89-99  
(福沢愛, 田中嵐, 原田和弘, 増本康平.)
143. 身体活動・運動疫学研究における重要論文20本(2009~2018)  
運動疫学研究, vol.24 2022.6 pp.19-33  
(松下宗洋, 鎌田真光, 笹井浩行, 原田和弘, 門間陽樹, 井上茂, 中田由夫, 小熊祐子)

144. Effect of emotion regulation on mental health of couples in long-term marriages: one-year follow up study  
(Masumoto, K., Harada, K., Shiozaki, M.) Japanese Psychological Research, 2022.7 vol.64 pp.360-368
145. 他者との運動実施が高齢者の運動継続に及ぼす影響: 基本属性および外向性との交互作用の検証  
(太田幸志, 原田和弘, 増本康平, 岡田修一) 理学療法学, vol.49 pp.265-274 2022.8
146. Effectiveness, moderators, and mediators of self-regulation intervention on older adults' exercise behavior: a randomized, controlled crossover trial  
(Harada, K.) International Journal of Behavioral Medicine, vol.29 pp.659-675 2022.10
147. The development of the Psychological Determinants of Exercise Questionnaire for Japanese Older Adults (PDEQ-JOA): a questionnaire based upon the Theoretical Domains Framework  
(Walker, R., Harada, K.) Journal of Aging and Physical Activity, vol.30 pp.857-871 2022.10
148. 労働者における他の人と行う運動とストレス反応およびメンタルヘルス不調との関連  
(原田和弘, 井澤修平, 中村菜々子, 吉川徹, 赤松利恵, 池田大樹, 久保智英) 体力科学, vol.71 pp.417-429 2022.10
149. 健康づくりのための身体活動指針の認知・知識・信念・行動意図の現状と身体活動・座位行動の関連  
(田島敬之, 原田和弘, 小熊祐子, 澤田亨) 日本公衆衛生雑誌, vol.79 pp.790-804 2022.10
150. Hilly environment and frequency of going out-of-home among older adults: examining moderating effect of driving status  
(Harada, K., Masumoto, K., Kikumasa, Y., Okada, S.) Geriatrics and Gerontology International, vo.22 pp.961-967 2022.11
151. Emotional valence of self-defining memories in older adults: longitudinal study.  
(Masumoto, K., Sato, K., Harada, K., Yamamoto, K., Shiozaki, M.) Consciousness and Cognition, vo.106 e103431. pp.1-10 2022.11
152. Does health literacy moderate the psychological pathways of physical activity from guideline awareness to behavior? A multi-group structural equation modeling  
(Tajima, T., Harada, K., Oguma, Y., Sawada, S.) BMC Public Health, vol.23 e106. pp.1-13 2023.1

153. A non-pharmacological multidomain intervention of dual-task exercise and social activity affects the cognitive function in community-dwelling older adults with mild to moderate cognitive decline: A randomized controlled trial  
(Lee, S., Harada, K., Bae, S., Harada, K., Makino, K., Anan, Y., Suzuki, T., Shimada, H.)  
Frontiers in Aging Neuroscience, 2023.3 vol.15 e1005410. pp.1-10
154. Social network and health behaviors among Japanese older adults: A three-wave longitudinal study  
(Harada, K., Masumoto, K., Okada, S.)  
Health Promotion International, 2023.4 vol.38 daad013. pp.1-13
155. Between- and within-couple concordance for health behaviors among Japanese older married couples: examining the moderating role of working time  
(Harada, K., Masumoto, K., Okada, S.)  
International Journal of Behavioral Medicine 印刷中
156. 身体活動のオンライン介入研究:事例と今後の可能性  
(中田由夫, 難波秀行, 小谷究, 鈴木宏哉, 宮田洋之, 渡邊裕也, 天笠志保, 原田和弘, 桑原恵介)  
運動疫学研究 印刷中

#### <査読なし論文>

1. 運動器の機能向上に必要な行動心理学  
(原田和弘, 中村好男)  
Gpnet, vol. 55 2008.8 pp.58-63
2. 運動指針2006の認知度と身体活動の実践  
(原田和弘, 中村好男)  
体育の科学, vol. 61 2011.2 pp.103-108
3. 肺がん患者の身体活動支援の実際  
(荒井弘和, 原田和弘, 平井啓, 所昭宏)  
体育の科学, vol. 62 2012.2 pp.125-129
4. サルコペニアに対する低強度運動  
(原田和弘)  
体育の科学, vol. 68 2018.3 pp.174-178

#### V. 学会での口頭発表等(直近5年間)

1. 中高齢夫婦における身体活動・座位行動の相互関連性  
(原田和弘, 増本康平, 近藤徳彦)  
第60回日本老年社会学会大会 2018.6
2. 中高齢者における家事・仕事時間と運動・身体活動量との関連:横断分析および縦断分析  
第73回日本体力医学会大会 2018.9

(原田和弘, 増本康平, 近藤徳彦)

3. 運動・身体活動の実践が高齢夫婦の精神的健康と夫婦関係に及ぼす影響  
(原田和弘, 増本康平, 近藤徳彦) 日本心理学会第82回大会 2018.9
4. 環境要因が客観的に測定された高齢者の外出時間に及ぼす影響  
(原田和弘, 李相侖, 李成喆, 裴成琉, 原田健次, 島田裕之) 第6回日本介護予防・健康づくり学会大会 2018.11
5. 高齢夫婦における健康行動の相互関連性: 夫婦関係満足度による差異  
(原田和弘, 増本康平, 岡田修一) 第20回日本健康支援学会年次学術大会 2019.3
6. 就業とワーク・エンゲイジメントが中高齢夫婦の精神的健康に及ぼす影響  
(原田和弘, 増本康平, 近藤徳彦) 第61回日本老年社会学会大会 2019.6
7. 高齢夫婦における健康行動の縦断変化の相互関連性  
(原田和弘) 第26回日本健康教育学会学術大会 2019.6
8. 新型コロナウイルス感染症流行下における自己調整を高める郵送支援が高齢者の運動行動促進に及ぼす効果とその行動科学メカニズム: ランダム化クロスオーバー試験  
(原田和弘) 第24回日本運動疫学会学術総会 2022.6
9. 自宅周辺の坂道環境が高齢者の外出頻度に及ぼす影響: 自動車の運転状況による差異  
(原田和弘, 増本康平, 菊政優太, 岡田修一) 第77回日本体力医学会大会 2022.9
10. 学齢期の運動の好き嫌いの記憶と高齢者の運動行動との関連～各年代での運動習慣歴と高齢期の心理的要因を媒介した経路の検討～  
(原田和弘) 第29回日本行動医学会学術総会 2022.12
11. 社会的ネットワークが高齢者の健康行動に及ぼす影響～3時点の縦断調査による検証～  
(原田和弘, 増本康平, 岡田修一) 日本介護予防・健康づくり学会第10回記念大会 2023.3